

日時：2021年12月

内容：子どもがケガをした時の対応について、どうなっているのか。
またケガの程度の判断の仕方についてもしっかりやってほしい。

対応：ケガの大小に関係なく、子どもに何かあった時は、必ず保健師
又は主任、又は周りの保育士などにもみてもらい、
自己判断しないように徹底する。